

第3学年 学年通信 1月号

大阪市立佃中学校
2026年1月8日
発行

～佃中学校45期生 卒業まであと44日～

「残された日々、一日一日を大切に全力で駆け抜けよう！！」

いよいよ、3年生の3学期がスタートしました。佃中学校45期生の中学校生活も今日を入れて44日（登校する日数）となりました。残りの日々の一日一日を大切に、そして、これまで通り全力で駆け抜けてほしいと思います。

この3学期は、9年間の義務教育の最後となる中学校の卒業式を迎えると同時に、卒業後の進路を決める入試に臨みます。中学校生活で最も大切で、密度の濃い44日間をこれから過ごすことになります。これまでの2年9ヶ月の中学校生活はこの時のためにあったと言っても過言ではありません。「終わりよければすべてよし」の言葉通り、希望の進路をつかみ、最高の卒業式を迎えられるようにしてください。

そして、これまで共に過ごしてきた仲間達との時間も限られたものになります。卒業後はほとんどの人が別々の進路を歩むことになります。45期生のみんなと過ごすかけがえのない時間を大切に毎日を過ごしてください。



～文を書くとは～

数年前の朝日新聞の中の「折々のことば」で鷲田清一さんが国語の教科書で習った「井上ひさし」（何の話の筆者か覚えてていますか？）の言葉を引用して、作文の秘訣を書いていました。その一面を紹介します。

『作文の秘訣を一言でいえば、自分にしか書けないことを、だれにでもわかる文章で書くということだけなんですね。 井上ひさし』

自分がいちばん大事に思っていること、辛いこと、嬉しいことを書く。一人ひとり少しずつ違う「その違うところ」を平明に書く。いい文章はそのことで人の心を動かすと、作家は『井上ひさしと141人の仲間たちの作文教室』で語る。彼は生前よく「むずかしいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことを面白く」とも語った。

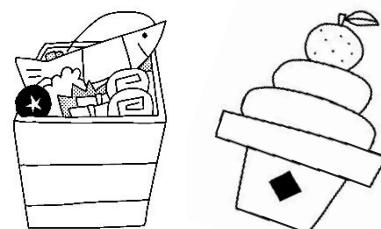
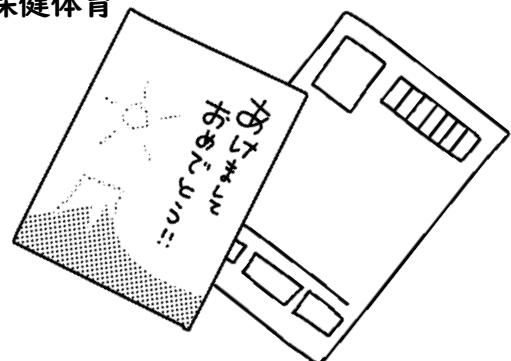
入試の作文や自己申告書、卒業文集などの文章を書く機会が多く、嫌いな人も多いと思います。有名作家の言う作文の秘訣を読んで、難しく考える必要はないかもしれません。ぜひ、実践してみましょう。

1月の予定

- 1月8日（木）始業式
- 1月9日（金）実力テスト 国語・数学・社会
- 1月13日（火）実力テスト 英語・理科
- 1月20日（火）私立出願指導
- 1月21日（水）私立出願
- 1月22日（木）3年生学年末テスト 数学・国語・理科
- 1月23日（金）3年生学年末テスト 社会・英語・保健体育

2・3月の主な行事予定

- 2月10日（火）私立高校入試
- 2月16日（月）～17日（火）公立特別選抜出願
- 2月16日（月）～19日（木）進路懇談
- 2月19日（木）公立特別選抜学検 1日目
- 2月20日（金）公立特別選抜学検 2日目
- 3月4日（水）～6日（金）公立一般選抜出願
- 3月11日（水）公立一般選抜学検
- 3月12日（木）卒業式予行
- 3月13日（金）第45回卒業式
- 3月19日（木）公立一般選抜合格発表



～保護者の皆様～

新年おめでとうございます。今年も引き続き、本校の教育活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。2026年もお子様が健康で、仲間と切磋琢磨しあいながら、夢や目標に向かってくれることを願っています。中学校生活も残りわずかとなりました。一人ひとりが無事に15歳の巣立ちを迎える日まで、どうぞよろしくお願い申しあげます。

